

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2025
公募 C(在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者対象)
テーマ:「TOKYO WELL CITY (都市における未来の働き方)」

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

募集要項 C

※この募集枠は、2025 年 4 月 1 日時点で本学に在籍する正規課程の学生または教員・研究者および本学の卒業・修了生を対象としています。その他の枠は下表をご参照ください。

「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 募集枠一覧

企画募集を行う領域・テーマ		申請資格・対象(※)
要項 A	[1]アート DX	在学生 在籍教員／研究者
	[2]ケア & コミュニケーション	在学生 在籍教員／研究者
要項 B	[3]キュレーション (みずほフィナンシャルグループとの連携枠)	卒業・修了生 (40 歳以下)
要項 C (本紙)	[4]TOKYO WELL CITY (三菱地所との連携枠)	在学生、卒業・修了生 在籍教員／研究者
要項 D	[5]アート×エンターテインメント／AI (サイバーエージェントとの連携枠)	在学生 2020 年 3 月以降の卒業・修了生
要項 E	[6]マイノリティの活躍促進 (ゴールドマン・サックス証券との連携枠)	在学生、卒業・修了生 (女性, LGBTQIA+に限る)

※詳細はそれぞれの募集要項を必ず確認してください。

※申請資格を満たしていれば、領域・テーマごとに 1 人 1 件まで申請可能です。

申請締切：2025 年 5 月 14 日(水)17 時
本公募枠の助成総額(予定)：400 万円



芸術は人を愛する



2025 年 3 月 18 日 東京藝術大学 芸術未来研究場 **TOKYO WELL CITY**

※本助成は、三菱地所様からの受託事業として行われます。

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2025
公募 C(在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者対象)
テーマ:「TOKYO WELL CITY (都市における未来の働き方)」

1 趣旨・目的

東京藝術大学は、「世界を変える創造の源泉」として、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すため、2019 年度より企画公募事業『東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト』を展開しています(これまでに採択・実施された企画のアーカイブ等の特設 Web サイトに掲載しています: <https://iloveyou.geidai.ac.jp/>)

また本学は、2023 年 4 月に「芸術未来研究場」を創設しました。本研究場は、多様性を認め合える社会の実現に向け、「アートは人が生きる力である」という確信及び「人の心」への眼差しを根幹として、新たな価値の創造や社会的課題の解決に係る実験と実践を重ねることを通じ、人類と地球のあるべき姿を探究することを目的としています。

この度、「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 を、「芸術未来研究場が主催する共同研究企画公募事業」として実施し、本公募枠では、三菱地所株式会社との連携により「TOKYO WELL CITY (都市における未来の働き方)」をテーマに、大手町・丸の内・有楽町を舞台として、ビジネスパーソンの創造性や Well-being を高めるコンテンツを制作・発表する企画を広く募集します。

2 募集する共同研究企画の実施期間

・2025 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

3 申請資格・対象

①2025 年 4 月 1 日時点で本学の正規課程に在学する学生が主催する企画

※研究生等の非正規生や、履修証明プログラムの受講生は対象外です。

※正規課程の学生であっても、休学者は対象外です。

②2025 年 4 月 1 日時点における本学の卒業生・修了生が主催する企画

③2025 年 4 月 1 日時点で本学に所属する教員・研究者が主催する企画

※対象となる職種は、本学の専任教員、特任教員・研究員(非常勤含む)、教育研究等非常勤職員(教育研究助手、学芸研究員、テクニカルインストラクター、学術インストラクター)、専門研究員、実技指導や研究指導を担当する非常勤講師です。

※教養科目、専門基礎科目、語学科目等を担当する非常勤講師は対象外です。

4 助成金額、助成対象経費、助成金の使用方法

助 成 金 額 1 件につき 80 万円以内 (内リサーチのための旅費等は 50 万円以内)

助成対象経費 消耗品費、印刷費、翻訳費、旅費、業務委託費、通信運搬費、広告宣伝費、使用料／借料(会場費や機材レンタル)、感染症対策費

※研究環境整備用の備品(空調機器、机、椅子、棚など)は購入できません。

※飲食費・交際費(手土産代など)はいかなる場合も対象となりません。

※企画申請者(代表者)本人に対して業務委託費や謝礼は支払えません。

※**学生が主催する企画(上記①の枠組)の場合、換金性の高い物品(パソコン、タブレット、カメラ、録画・録音機器、テレビなど)及び取得価額が消費税込 10 万円以上の物品は購入できません。**

助成金の使用方法 学生、卒業・修了生、教員・研究者が主催する企画のいずれについても、大学の会計事務を通じて物品等の発注や支払い処理を行います。

※上述の実施期間外に発生している経費には助成金を充当できません。

5 募集する共同研究企画の要件および分野・形態

※「都市における未来の働き方」というテーマに関して、先進的な取組を実施している海外機関や国内機関についての現地訪問によるリサーチを必ず行う企画であること。

※そのリサーチの成果として、都市の持続的成長に対してアートが果たしうる役割や機能、効果を探求する視点を持ちながら、東京都心で働くビジネスパーソンの創造性を喚起するような、あるいは、より心豊かな働き方を可能にする街のあり方を提示するような、何らかのアウトプットを、2025 年 12 月上旬に丸の内等で開催される FUTURE VISION SUMMIT (FVS) において発表する企画であること。

(発表場所：コンファレンススクエアエムプラス 1F「サクセス」等を予定)

※企画全体の予算計画の中に、FVS におけるアウトプット(展示・演奏等)の実施に係る経費も必ず計上しておいてください。

※アウトプットの形態は、作品・演奏・上映・研究報告・ワークショップ等のいずれも可。

※アーティストによる取組だけでなく、中間人材(キュレーター、プロジェクトマネージャー、コーディネーター、エデュケーター、アートマネージャー、コミュニケーター、プロデューサー、インストラクター等)や研究者による企画も可。

※採択された企画の実施にあたっては、リサーチから成果の発表まで、芸術未来研究場 TOKYO WELL CITY プロジェクトを主導する教員・研究者研究支援者としてが伴走支援を行います(国内外の機関を現地リサーチする際のコーディネートやアポイントメント取得の支援を含む)。

「都市における未来の働き方」に係るリサーチ対象候補となる海外機関や国内機関の一例

○都市の文化的ランドマーク

- M+ ; エムプラス (香港)
- バンコク・アート・アンド・カルチャー・センター (タイ・バンコク)
- Factory International (イギリス・マンチェスター)
- C-LAB、台湾当代文化実験場 (台湾)

○都市のクリエイティブハブ

- NEW INC/NEW MUSEUM (アメリカ・ニューヨーク)
- 100BANCH (東京都)
- シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] (東京都)
- EYEBEAM (アメリカ・ニューヨーク)
- パレ・ド・トーキョー (フランス・パリ)

○若手アーティスト支援と都市文化の実験場

- YAU (東京都)
- ZK/U Berlin - Center for Art and Urbanistics (ドイツ・ベルリン)

○ローカルとグローバルの接続/アート&テクノロジーの交差点

- アルス・エレクトロニカ (オーストリア・リンツ)
- YCAM:山口情報芸術センター (山口県・山口市)
- ZKM (ドイツ・カールスルーエ)
- Watershed (イギリス・ブリストル)

東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2025
公募 C(在学生、卒業・修了生、在籍教員・研究者対象)
テーマ:「TOKYO WELL CITY (都市における未来の働き方)」

○トランスローカルネットワーク

- ルアンルパ (インドネシア・ジャカルタ)
- サイエンスギャラリーネットワーク (アイルランド・ダブリン他)

○社会的包摂とアート実践

- 可児市文化創造センター (岐阜)
- Good Job! Center KASHIBA (奈良)

○市民の創造性のエンパワーメント

- 秋田市文化創造館 (秋田)
 - 八戸市美術館 (青森)
 - メディアラボ・プラド (スペイン・マドリード)
- ※市民参加型クリエイティブラボ、オープンイノベーションを促進。

○都市再生とアート主導の地域変革

- Superkilen (デンマーク・コペンハーゲン)
- ※移民や多様な文化背景を持つ人々が多く住む地区の公共空間を再設計した公園。地域住民と共に世界各国から文化的な要素を集め、社会的な統合を目指した空間デザインを実施。

○教育

- Exploratorium (アメリカ・サンフランシスコ)
- ※科学・芸術・人間の知覚をテーマにした体験型学習を提供する博物館。「Tinkering Studio」では来館者が実際に材料や道具を使って実験し、試行錯誤しながら学ぶ STEAM 教育の環境を提供。

FUTURE VISION SUMMIT(FVS)について (<https://www.fvs2024.com/>)

日本有数のビジネス街である大手町・丸の内・有楽町(大丸有)において、社会や経済の未来をアートによるビジョンメイキングを交えて考える都市型のカンファレンスイベント。

様々なセクターのリーダーたちのビジョンが示される「カンファレンス」と、アートを媒介とした多彩な実践・実験的な取り組みを展示・ワークショップで紹介する「ショーケース」が、数日間にわたって開催される。

FVS は、アーティスト、科学者、ビジネスマン、行政担当者等が集い、アートを軸に未来社会を考える、ビジネス、サイエンス、エンジニアリングの交差点となる。そして、気候変動や資本主義経済の行き詰まり、紛争に格差などの課題に対応するため、新たな視点を持ち、正しい問いをつくり、豊かに想像し、他者と対話を重ね、強度のあるビジョンを描いて行動し、トライ＆エラーしながら小さな変化を起こしつつづけることの重要性を投げかける。

6 申請締切

・2025 年 5 月 14 日(水) 17:00【時間厳守】

・申請書類一式を、下記の Web フォームにアップロードしてください。

<https://forms.gle/AmWtKZQGz5eWS1ju9>

※申請は 1 人につき 1 件迄です(ひとつの企画について複数人が別々に申請するの不可)。

※締切時刻までに必要書類一式が事務局で受信できている場合のみを審査対象とします。

※問い合わせ先: i-love-you@ml.geidai.ac.jp

7 申請に必要な書類

[1]企画書 兼 予算計画書(所定様式: Microsoft® Office Excel および PDF 化したデータ)

[2]コンセプトペーパー(A4 縦 1 枚、PDF データ。企画概要を分かりやすくまとめたもの。

作成方法は手書きを含め自由ですが、提出の際は PDF 化してください)

※[1]の EXCEL データおよび PDF データ、[2]の PDF データの 3 種類の提出が必要

です。
※コンセプトペーパーには「企画のタイトル」を必ず記入してください。

※様式の変更やページ数の増減をしないでください。

8 審査・選考

・審査および選考は、以下①～④の観点により、東京藝術大学芸術未来研究場の TOKYO WELL CITY プロジェクト担当教員および三菱地所の社員が行います。

①本公募事業の趣旨・目的に合致しており、社会にインパクトを与えることが期待される。

②内容や着眼点に独創性があり、各芸術分野の特性を踏まえた高度な研究や実践が期待される。

③本公募枠が求める企画内容に合致している。

④予算の積算が妥当であり、実施に必要な条件が準備できていると見込まれる。

・審査結果として、採択企画および助成額の一覧を大学 Web サイト等で公表します。

※審査結果は 2025 年 6 月下旬頃に公開・通知予定です。

※申請額よりも助成額を減額して採択する場合があります。

9 応募にあたっての注意事項

・学生が申請する場合、企画実施の「監督者・管理者」として、指導教員の許可を必ず得てください(特に 5 項に記載の、本企画の実施に係る研究支援者が配置されることについて)。

・企画における「社会への発信を伴う活動」を行う場所等については、申請者が各自で責任をもって確保してください(申請時には未定でも構いません)。

但し、2025 年の 11 月下旬頃に、本学の大学美術館において、「芸術未来研究場」全体を社会に発信する展覧会を開催する予定であり、本公募に係る企画書様式の中に、この展覧会への出展(作品展示やパネル展示等による中間成果物の発表や企画概要の紹介)を希望するかどうかを選択する欄を設けていますので、参加を望む場合はその旨を記載してください(展示等の場所や機会の確保を約束するわけではありませんので、ご注意ください。なお、本展覧会に参加いただくこととなった場合、出展に係る経費は本助成金とは別途大学側で負担します)。

・企画の代表者等には、本プロジェクト主催のイベント等への参加を依頼する場合があります。

・企画書等の内容は本プロジェクトの広報活動に使用させていただく場合があります。

・採択者には研究費の管理等に関する誓約書を提出していただきます。

- 以上 -